

野党統一芝さんが当選！

参院選挙・三重選挙区、自民に勝つ

7月10日の参議院選挙、定数1の激戦区・三重選挙区で芝ひろかずさん



(民進党)が自民党の山本佐知子氏に競り勝ち、3期目の当選を果たしました。今回の選挙で、日本共産党は初めて独自候補を降ろして、「野党統一」候補として芝さんを応援しました。両氏の得票を見ると、鈴鹿では51,651票：40,542票、県全体で44万票：42万票という少差で、もし野党統一がなかったら芝さんは勝て

6月5日の「市民連合みえ」街頭宣伝(四日市駅前)

で訴える芝さん。この日から局面が変わった。

なかったでしょう。比例区で共産党が得た6万6千票も、選挙区での芝さん押し上げに大いに貢献したと言えます。

私たちも、共産党以外の候補をお願いするという初めての経験で、最初はちょっと違和感がありました。

しかし「安倍政治の暴走ストップ」という大義を前面に、「市民連合みえ」と連帯して選挙戦に取り組む中で、これまでの選挙以上に「選挙区は野党統一の芝さん、比例区は共産党を」と広く市民に訴えて頑張ることが出来ました。

芝さんの出陣式、演説会、駅頭や街頭での宣伝などに参加し、新たにいろんな人たちと知り合っ



わが家の前にも芝さんのポスターを貼り出しました。

日本共産党 6 氏当選、14 議席に前進

今回の参院選で、日本共産党は東京選挙区で1、比例代表で5、合わせて6議席を得て3増となり、非改選8を加えて14議席の勢力となりました。とくに比例で東海・北陸信越から「たけだ良介」さんが5番目に当選し、選挙区・比例区ともに勝利という私たちの目標を果たせたことが、大変うれしいです。



鈴鹿市で7058票獲得

日本共産党の比例得票数は全国で601万票で、前回2013年選挙の515万票より86万票の増、2014年衆院選の606万票と同等、6年

6月23日白子駅前で釜井敏行比例候補、島津幸広衆院議員
前の2010年参院選の356

鈴鹿市での今回の得票と過去の国政選挙との比較

万票と比べると245万票・69%もの伸びになります。

鈴鹿市でも7058票を獲得。これは2013年よ

鈴鹿市	2016参院選	2014衆院選	2013参院選
比例得票数	7058	7313	5634
同 得票率	7.55%	8.73%	6.61%

り25%アップ、2014年と同等、また3人が当選した2015年市議選の6293票より12%増、2010年参院選の3767票からは87%増という成果です。「1万票を超えよう」との目標にはまだ達しませんが、かつての「自民か民主か」の2大政党論のもとで伸び悩んだ時期とは違い、がんばれば前進できる時期なのだと思われ、さらに努力していきたいと思えます。

憲法をこわし、暮らしをこわすアベ政治ストップ

選挙の結果全体を見ると、自民・公明の与党など改憲勢力が、参議院でも3分の2を占めるという事態になり、今後の政治のさらなる右傾化が進む危険性があります。しかし一方では、野党と市民の共同が進み、三重県をはじめ11の1人区で自民党に勝つという成果を上げています。自民党政治と正面から対決する日本共産党の値打ちを發揮する、これからが正念場です。

Cバス値上げで4月から乗客15%減る

Cバス西部路線、南部路線の料金が、4月から大幅に値上げされましたが、この6月までの3ヶ月で、利用する乗客数が15%も落ち込んでいることが分かりました。担当する都市計画課の資料によれば、乗客人数が昨年度と比較して西部路線で14.6%、南部路線で16.4%、全体で15.2%落ち込んでいます。値上げした4月だけでなく、その後もこの傾向は変わらず、年間に換算するとおよそ5万人は減ると予想されます。

Cバス利用者数の路線別4～6月実績と昨年度との比較（単位・人）

	椿平田線	庄内神戸線	白子平田線	太陽の街平田線	全路線合計
2016年度	33,905	15,125	17,961	4,102	71,093
2015年度	40,028	17,393	21,909	4,490	83,820
増減人数	-6,123	-2,268	-3,948	-388	-12,727

昨年11月に出された市の値上げ案での増収見通しは、乗客数が変わらないという前提で計算されていきました。2014年度収入実績・年間約4,000万円から約6,600万円に、2,600万円増収となる計算でしたが、15%減では1,600万円となり、1,000万円（38.5%）も当てが外れます。収益のことだけを目的に値上げし、利用者の声を聞かなかったことが原因だと言えます。

そもそもCバス利用者は、車に乗れないお年寄り、高校生など「交通弱者」がほとんどです。その人たちに最大2倍もの負担増をしたことが間違いです。通学に毎日利用して1日600円、月15,000円の負担はけっこう重いもので、通学割引定期のある三交バスや近鉄、JRよりも高くなるのです。6月議会でも質問しましたが、私はCバスに通学割引定期や高齢者割引を行なうか、料金をもとの値段に戻すことを求めます。

値上げした国保税納付書が届きます

大幅な引き上げとなった今年の国民健康保険税の税額が入った納税通知が、加入世帯に7月12日に発送されました。平均で1世帯当り185,511円（14.8%増）、1人当り112,039円（16.55%増）ということです。

納税通知の内容をよく確認してください。課税内容が正しいかどうか分からない方、払うことが困難な方、今年の収入が大きく下がっている方など、個々の事情によって減免や分割納付などが出来る場合があります。放っておかず、お気軽に共産党市議団に声をかけて下さい。



政治は言葉の他流試合

参議院選挙の最中のNHK日曜討論で、共産党の政策委員長が防衛費について発言した中で「人を殺すための予算」と言ってしまい、発言を撤回するとともに役職を辞任する事態となった。べつに自衛隊を侮辱する意図がなくても、そう取られる言葉を間違えて使ってしまい、他党からの攻撃に利用されたのである。選挙の翌日に会った新聞記者から、「あの件がなかったら、共産党もっと伸びたのにね」と言われて、言葉を発することの大事さを改めて感じた。私も言葉の使い方で失敗したことが、何回もあるので身につまされる。とくに議会という所は、ちょっとした言葉使いに揚げ足を取られるような場面もあるので要注意だ。また逆に、他の議員が質問の中でわざと共産党攻撃を仕掛けてきたこともあった。その場で抗議してあとで議事録から削除させたが、ウツカリ聞き流してしまうとその言葉が残ってしまうので、油断できない。議会という所は、国会でも市議会でも、言葉を使った真剣勝負・他流試合の場なのだ、と心得ておく必要がある。

ネットの時代、言葉の使い方には細心の注意を

また街頭宣伝の場でも、例えば「戦争法」とだけ言っていたら、「そんな名前の法律ないやろ」と抗議されて、その後からは「安保法制・私たちは戦争法と言いますが」と話すように変えた。さらに最近注意しなければならないのは、ネットでの言葉の使い方である。どこかの市の議員がツイッターで「死ね」と書いたのが問題になって、辞任した事件もあった。だれでもいつでも簡単に投稿できるが、その先は世界の果てまでオープンである。身内の世間話を公開したり、固有名詞や写真などを間違ったり、当事者に断わりもなく使ったりして、それが議員などの公人であれば取り返しがつかなくなる。

最後に、笑い話のような私の失敗談。ずっと以前のことだが、ある後援会の春のバス旅行「吉野の桜の花見」に同行した時に、車中であいさつをする機会があった。女性が多かったので「今日は吉野の桜より、バスの中の方が花盛りで、もう今が満開ですなあ」と、いい調子で話すと皆さん大喜びでした。そこで止めておけば良かったのを、さらに一言「あとは散るだけですなあ」とやってしまい、大いに鬱蹙を買ってその日は小さくなっていました。